

新基地建設反対名護共同センターニュース

「沖縄県民に寄り添う」なら民意尊重し工事中止を！ 県政与党県議 10 人も「辺野古」で抗議行動



座り込みには、県議会与党の「沖縄・平和」、日本共産党、ていーだネットの各会派から計10人の県議も参加しました。多くの県議が「学術会議の任命拒否問題は辺野古の問題と同じ権力の乱用だ」と告発。菅首相が国会の所信表明で「沖縄の皆さんに寄り添いながら取り組む」と述べたことについて「それでは、県民の7割以上が反対している辺野古新基地は直ちに中止すべきだ！」と訴えると共感の大きな拍手が起こり、新基地建設を中止させるまで不屈にたたかう決意を誓い合いました。

県政与党の議員10人も座り込む

辺野古ゲート前では10月29日(木)、各地「島ぐるみ」から80人ほどの県民が参加し、抗議行動を展開しました。コロナ感染症予防のため三密に留意しつつ、たかひの歌を響かせ、「違法工事を中止せよ」と元気に抗議のシュプレヒコールを繰り返しました。

学術
会議

任命拒否は新基地建設と同じ違憲・違法

オール沖縄会議・福元事務局長と 共産党県議団が海上視察

29日のゲート前行動の後、オール沖縄会議の福元勇司事務局長と共産党の渡久地修団長ら4人の県議が抗議船・平和丸に乗船し、海上から新基地建設現場を視察しました。

K8とK9護岸付近では安和港などから運んできた違法な赤土をトラックに積み込む現場を確認し、怒りを募らせていました。福元事務局長は「生々しい現場をこの目で見る事ができてよかった」と話していました。

↓県庁で記者会見する
「オール沖縄会議」の
共同代表ら



任命拒否で「オール沖縄会議」が抗議

オール沖縄会議は10月27日、県庁で記者会見し、日本学術会議会員の任命を菅首相が拒否した問題で強く抗議し、拒否の撤回と任命を求める声明を発表しました。声明では「学問の自由を踏みにじる違憲・違法行為」、「辺野古新基地建設と全く同じ」だとして「さる大戦において悲惨な地上戦を押し付けられた沖縄県民として」強く抗議し、任命を要求するとしています。

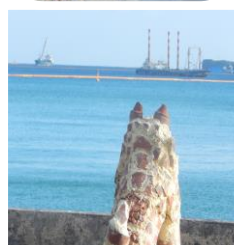


↑抗議船から現場を視察する福元事務局長(右端)と共産党県議団ら



シーサーも「新基地建設は許さないサー！」

新基地建設工事現場の大浦湾を見渡す瀬嵩区の墓場前広場に10月下旬、身長1.5m余の沖縄の守り神シーサーが出現しました。大浦湾ピースアートプロジェクト実行委員会が呼びかけ、首里城の焼け跡の瓦も利用し40数人の手でシーサーづくりが行われたものです。作製に参加した東恩納琢磨さん(名護市議)は「先祖伝来の地域と海の破壊は絶対に許さない思いで作製しました。私たちはシーサーとともに闘います」と決意を語っていました。



年内の県民大行動は中止！

沖縄県内のコロナ感染症が新たな広がりを見せていることからオール沖縄会議は、

11月7日と12月5日の各第1土曜日のゲート前県民大行動を中止することを決めました。

なお、来年以降については、コロナの感染状況の推移をみて改めて判断するとのことです。